

日興 AM ストレイットレーディング MSCI 中国 電気自動車フューチャーモビリティ ETF (NIKA)

中国の電気自動車(EV)市場は政府支援の追い風加速。
株価は調整色強めるも、上位銘柄は堅調な業績見通し
シンガポール市場 | セクター株式 | ETF

フィリップ証券株式会社

同ETFについて

同ETFは中国を代表する電気自動車 (EV) とフューチャーモビリティ関連の株式50銘柄に投資する。フューチャーモビリティは、電気自動車や自動運転車から高速鉄道、電動スクーター、ハイパーループ、太陽光発電の飛行機に至るまで、新しい交通手段のすべてを含む。中国本土上場のEV関連銘柄を主とするが、米国や香港に上場するEV関連銘柄にも投資する。純粋なEVメーカーに加え、EVとEVバッテリー総合メーカー、EVバッテリーEVリチウム製造のメーカーなどが含まれる。

中国のEV業界

- 世界的なEVの競争で中国は以下の優位性があるとみられる。
1. 世界最大の自動車マーケット: 中国が従来型自動車でもEVでも世界最大の販売台数を誇るなか、政府は2030年までに新車販売の40%以上をEVにする方針を打ち出している。
 2. 政府主導によるEVインフラの整備: 中国政府の積極的な後押しを受けて中国国内の充電ステーション数は21年末で約50万に達した。これは米国の10倍超に上る。
 3. バッテリー生産は中国に集中: EVを購入する際の最大の障壁はバッテリー関連コストである。中国はリチウム産出の拠点であると同時に、バッテリーの技術大国かつ世界最大の生産拠点でもある。
 4. EVは中国の消費者のニーズにマッチ: 中国の消費者はコンパクトで経済的なEVを好むが、米国の消費者は従来型の大型車を好む傾向がある。そのため、多くの米国自動車メーカーは従来型車種への注力からEV競争では不利な状況にあると考えられる。

最近の中国新エネルギー車販売動向

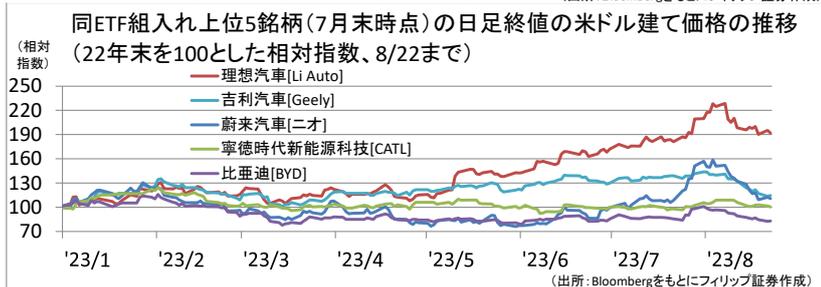
2023年上半期 (1-6月) の中国市場の新車販売台数は前年同期比10%増の1323万台。その内、新エネルギー車 (NEV) が同44%増の374万台 (内、EVは約73%の271万台) となった。23年上半期にNEV販売台数で最多メーカーはBYDで前年同期比87%増の119万台。2位の米テスラの約2.5倍に達した。23年6月、政府の工進部や農業農村部など5部門より地方都市や県区でNEV購入を後押しする普及キャンペーンに関する通知が昨年引き続き発表されたほか「新エネルギー車車両購置税減免政策延長と最適化に関する公告」が発表。車両購置税の免除は24年1月~27年末とされた。

組入れ上位5社の業績および株価動向

同ETFの組入れ上位5社 (7月末で合計約46%のウェートを占める) について業績動向を見ると、23年度市場予想は全てが前期比で2桁以上の増収率、蔚来汽車[ニオ]を除く4社が営業増益または黒字転換と堅調に推移の見通し。同ETFの最近の価格推移は主要銘柄の業績見通しが反映されていない面もあろう。また、昨年末以降のこれらの企業の株価推移を見ると銘柄ごとに差異が大きい。そのため、EV関連の個別銘柄投資に対するETFによる投資が有効となりやすい面があると言えるだろう。

銘柄	項目	21年度		22年度		23年度市場予想	
		金額(百万円)	前期比(%)	金額(百万円)	前期比(%)	金額(百万円)	前期比(%)
蔚来汽車[ニオ] (NIO/米NYSE)	売上高	36,136	122	49,268	36	63,071	28
	営業利益	-4,496	-	-15,640	-	-16,479	-
比亜迪[BYD] (1211香港)	売上高	216,142	41	424,064	96	630,050	49
	営業利益	6,476	-35	20,715	220	32,013	55
寧徳時代新能源科技 [CATL](300750深セン)	売上高	130,355	159	328,594	152	434,982	32
	営業利益	17,949	182	31,507	76	53,004	68
理想汽車[Li Auto] (LI/米NASDAQ)	売上高	27,009	186	45,286	68	115,384	155
	営業利益	-1,017	-	-3,654	-	4,575	-
吉利汽車[Geely] (175香港)	売上高	101,611	10	147,964	46	175,423	19
	営業利益	3,055	-39	3,728	22	4,193	13

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)



終値 (SGD) 0.526 2023/8/22

ファンドの概要

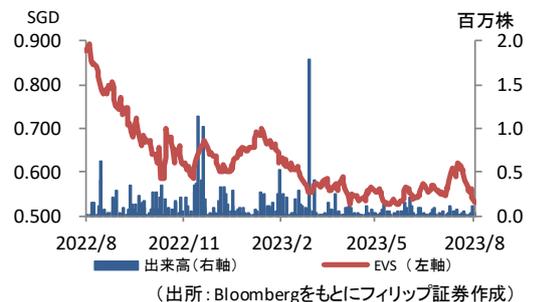
同ファンドの運用目的は、MSCI China All Shares IMI Futures Mobility Top 50 Indexのリターン(「インデックス」)、または運用会社が受託者および受益者に3か月前の事前通知を書面で提供する場合、インデックスと同党または実質的に類似のエクスポージャーを持つ運用会社が考えるその他のインデックスのリターンに可能な限り連動する運用成果(報酬・費用等控除前)を実現することにより、長期的な信託財産の成長を目指す。

基本情報(2023/7/31)

名称	日興AMストレイトレーディングMSCI中国電気自動車フューチャーモビリティETF (NikkoAM-Straits Trading MSCI China Electric Vehicles and Future Mobility ETF)
主要投資対象	中国を代表する電気自動車(EV)関連の株式50銘柄に投資する
ベンチマーク	MSCI China All Shares IMI Future Mobility Top 50 Index
信託財産留保額	なし
委託会社報酬	0.5%(年率)
取引頻度	日次
分配頻度	なし
年度末日	12月31日
運用会社	日興アセットマネジメント・アジア・リミテッド

ファンドデータ(2023/8/22)

時価総額(百万SGD) 295.3
総資産(百万SGD) 302.6
NAV(倍)



リサーチ部

笹木 和弘
+81 3 3666 6980
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。